

団体名	太市の郷		
団体の所在地	姫路市	代表者名	崎谷 久義

1. 事業名	‘ふるさとの原風景再生プロジェクト’太市の郷		
2. 実施期間	平成22年4月1日～平成23年3月31日		
3. 主な実施場所	姫路市太市地区内(里山里地)		
4. 活動形態	・実践活動		
5. 活動内容・結果 (参加者、階層・人数等)	<p>○桜山公園近郊地に加えて、新たに始めた相野四拾町の里山保全。耕作放棄で荒廃した竹林整備を推進-----竹林への里道に不法投棄されたゴミの撤収・倒竹の片付け、乱立繁茂した竹の伐採を積極的に行いました。</p> <p>当会メンバーを中心に、月事に活動者募集チラシを広く市民に配布して呼び掛けも行いました。以前より定例的に参加の方、諸団体・施設(学校・更正施設など)の人々など毎回 20～30 名程が汗を流しています。竹林では、こども園の園児達 50 人と「タケノコみつけ」や「体験タケノコ掘り」などの自然観察体験もできました。</p> <p>○大津茂川・親しめる川づくり活動も、ゴミ収集や河畔木の伐採、川原の外来植物(オオブタクサ・アレチウリ)除草や水辺に近付ける環境整備(草刈り・土嚢積みなど)を行いながら、水質の調査活動も行いました。</p> <p>またホテル観察会や、地域の小学校と環境体験事業で水生生物観察会を催しました。</p>		
6. 成果・反響・反省点等	<p>○桜山の竹林保全事業は市の管理区域に組み込まれ、整備の手が入る事により美しい改善景が創出されました。予想を超えた素晴らしい成果です。</p> <p>○相野四拾町・荒廃した竹林里道の整備事業が市の提案型協働事業に選定され、何くれと無い援助の中で活動が進みました。また今年に入ってからは、県の森づくり担い手支援事業(ふるさと雇用再生事業)の応援を得られて此方も著しい進展が図れました。暗く荒んでいた里山に明るい光が差し込んだ光景は、整備をすすめるフィールド横を通過するJR列車や幹線道を走る車窓からも窺えて感嘆の声が聞けます。</p> <p>○里地の河川や田圃の活動は、地域の子もたちと共に度々の催事を行いました。川ではホテルの観察会や水性生物の捕獲調査など体験型環境学習をサポートし、休耕田を活用した「田んぼの学校」活動では、泥んこ遊び・水稲づくりなど様々なメニューをこなしました。自然の中で観る子どもたちの生きいきとした活動には、次代に繋ぐ自然環境の重要性を感じずにおれません。</p>		
7. 成果物	<p>○里山景観の改善活動は、整備が進捗する現場そのものが成果です。他に副産物効果としてフィールドで行う自然体験学習が出来たり、生物の多様性が現れたり的事象もあります。</p> <p>荒廃した風景の改修は、土地に生きる人々の気持ちの萎えを立ち返らせる力がある！これが最も重要な成果物だと思います。</p>		
8. 活動写真	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>放置で荒んでいた竹藪の間伐整備が進み、蘇った桜山の風景。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>相野四拾町・耕作放棄で密生した竹藪の伐採作業を行いました。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>大津茂川・地域の小学校の環境体験活動で「川の生き物調査」をサポート致しました。</p> </div> </div>		